

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成21年11月16日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870102001		
法人名	有限会社 エリア・ネットワーク・サービス		
事業所名	グループホーム あしたば	ユニット名	—
所在地	〒310-0903 茨城県水戸市見川丹下一の牧2131-1303		
自己評価作成日	平成21年7月7日	評価結果 市町村受理日	平成21年11月6日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	まだありません
-----------------	---------

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年8月4日	評価確定日	平成21年10月26日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>高齢者の増加に備えて、同敷地内にデイサービス、ショートステイを有する多機能型のグループホームになっている。 家庭的な雰囲気の中入居者様の個性を尊重し、見出しその人らしく生活ができるよう職員のサービスを統一している。 又個別リハビリ、体操を生活に取り入れ自立支援に力を入れている。 近隣には、総合公園、小売店、学校等があり環境にも恵まれ、散歩、買い物に出かけている。 地域の行事に積極的に参加し地域の交流も大切にしている。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>運営者は家庭的な雰囲気の中で、利用者一人ひとりの個性を尊重し自由な暮らしができるよう支援している。 また、医師指導のもと個別リハビリや体操を生活に取り入れるなど、自立支援に向けた様々な取り組みを実践している。 職員は利用者の生活歴を把握するほか、野菜作りや旬の食材を取り入れた献立をつくっている。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るく笑顔の絶えない家庭的な環境 その人らしく日常的支援」地域住民との交流の輪を広げます。理念に掲げ職員一人一人実践している。	事業所は「明るく笑顔のたえない家庭的な環境、その人らしく日常的な支援」という独自の理念を職員と共につくり、定期的に見直しながら全職員で理念を共有し実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方々の交流を深めるため、地域の夏祭りに参加している。又あしたばの夏祭りには、近隣の住民を招待し交流に勤めている。又近隣の散歩時には挨拶を交わし、馴染み関係を深めている。	地域の夏祭りに参加するとともに、事業所主催のあしたば夏祭りで地域住民を招待し交流している。散歩時に地域の人々と会話を楽しみふれ合う機会を多くつくっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣に外出時に住民との声かけ、触れ合いを重視している。グループホーム新聞を発行し家族、近隣に発行している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回実施している、会議に出された課題には積極的に取り組んでいる。会議を開催することにより、交流が深まり地域の行事にも参加しやすい。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し利用者の代表や家族等、市担当者、事業所の運営者や管理者、職員で話し合うとともに会議録を作成しているが、議題が行事日程の連絡程度で、踏み込んだ話し合いをするまでには至っていない。	運営推進会議で活発な意見交換ができるよう委員に前もってテーマを通知するなど、双方向的な意見交換ができるよう工夫することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	新型コロナウイルスについて感染予防についての対策についての問い合わせ等をしている。現在の入居情報の提供・地域以外の入居希望者の相談。	市担当者に他県の利用者の相談をしたり、介護保険制度改正の説明を受けるほか、ホームの書類等の手続きや困難事例の対応を相談するなど協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	シルバーカー使用、徘徊時の転倒の危険が在る方には常に見守り、一部介助、声かけを実施している。玄関は、オートロックを使用しているが入居者様の御家族様に御理解を頂き、外出したい方には職員が付き添い随時外出できるようにしている。	職員は身体拘束の弊害を理解しており、居室は施錠していない。玄関は道路に面しており、危険回避の為にオートロックを使用しているが、家族等には契約時に説明し理解を得るとともに、外出したい利用者に職員が付き添い随時外出ができるよう支援している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修ができるよう、研修の場の提供をし熟知でき、常に目配りをし入居者様に安全に過ごすことができるよう心がけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居中の方で、身元引受人が無く、現在利用している方が居る。関係者と連絡を密に取りながら、生活支援を行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時、家族、入居者様に説明を行っている。不安や疑問点に関しては御理解、納得頂けるよう説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に「苦情受付箱」を設置している。苦情時には管理者がすぐ対応し、上司報告し具体策を立案し解決ができるように検討している。	重要事項説明書に事業所や第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに玄関に意見箱を設置しているが、現在は利用されていないので、家族等の意見を把握するまでには至っていない。	無記名のアンケートを実施するなど家族等の意見を汲みあげるとともに、出た意見を運営に活かすことを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員一人一人が業務に関わり、感じたこと、業務上改善しなければならぬこと、月1回のカンファレンスにて話し合い反映させている。	運営者や管理者は職員と月1回のカンファレンスで積極的に意見を出し合い、出た意見を運営に反映している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年次有給休暇の利用し疲労、ストレスが消失でき仕事に向上心が持てるようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人職員には内部研修ビデオを活用し教育している。外部研修者は月1回あしたば全体会議で報告するなど全職員が共有している。地域密着サービスの職員として、質の向上を目指す為、介護者の立場、経験、習熟度の段階により、研修ができるようになっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同系列施設との交流の場を儲け情報交換をしている。敷地内にデイサービス、ショートステイもある事から利用を通じ慣れ親しむことができるよう配置している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の立場を優先し、不安が解決でき要望を取りいれることができ日常生活が送れるように心がけている。入所時は御本人に納得がいかれるよう分かりやすく、混乱しないよう説明をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所段階で本人の状態を確認し、家族の今後のケア希望を聞くと共に介護計画を作成しサービスをして行く上での情報交換としている。その後は、不適切サービスの見直し、要望等の確認をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族、本人が望むサービスを介護計画に反映させている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	サービス実施に当たり、生活習慣を把握し実践している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が納得できるサービスを提供し、入居者が自立でき、安心して日常生活を送ることができサービスを取り入れている。又家族の面会時、声かけし、意向、相談に関わっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族関係以外の馴染みの人には連絡等はしていない。しかし、特定の利用者には年に数回面会等はある。	事業所は利用者が盆や正月に家に帰れるよう働きかけ、家族等や親族、友人との付き合いが継続できるよう支援している。 家族等や孫が遊びに来るなど関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションの参加。ボランティア慰問への積極的な参加誘導を行っている、		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後の連絡は特にしていない。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメント時に生活歴や本人の家族の意向等を聴取し結果を「確認表」に記録している。日々の生活の中で、趣味や得意な事を把握しようと努めている。	職員は利用者の生活歴を把握するほか、利用者や家族等の意向を聴取し記録するとともに、思い思いの生活ができるよう支援している。 意志確認が困難な利用者には、家族等と話し合い利用者本位に合った支援をしている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時に確認している。	/		/
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタル測定にて状態を確認している。申し送り時やカンファレンス時に変化等のあった状況を話し合っている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回カンファレンスにより、家族の希望がサービスに取り組みれているか、検討している。また、サービス利用時の状況も踏まえつつ話し合っている。	介護計画は家族等の訪問時や利用者との日々の関わりの中で得た希望や意見をもとに、職員の意見を取り入れ作成している。 2ヶ月ごとにモニタリングを行い見直すほか、利用者の状態に変化が生じた場合は現状に即した介護計画に見直している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌と個別の記録を記入している。月1回のカンファレンスにて職員情報をもとに見直している。家族からの相談にも応じ、問題があれば職員と話し合い介護計画に取り入れ利用者本位のサービスを提供できるように関わっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同事業所のデイサービスやショートステイと連携をとりながら対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の人々に夏祭りの行事に参加の声かけしている。又近くにある学校の生徒、児童によるボランティアの活動も積極的に受け入れ交流を楽しんでいる。年1回開催される地域の夏祭りに参加し入居者も盆踊りに参加し楽しんでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関の指定医が決まっており、月2回の訪問診療を行っている。本人の指定医への受診支援も行っている。	利用開始前からのかかりつけ医に継続して受診できるよう支援するとともに、協力医による2週間に1回の訪問診療を受診するなど、利用者が適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設内に看護師がおり、健康管理をしている。看護職員は利用者の状態、職員、家族の情報を適切に医師に伝え診療を受けることができ、適切が治療、看護が可能である。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	指定医が医療機関と連携している。病院関係者との情報交換は施設職員が行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態が悪化し終末期状態になった場合は医療機関対応としている。	重度化や終末期のあり方について、運営者や管理者は前向きに考えており、現在は様々な関係機関と話し合いをしている。	重度化や終末期について事業所の対応方針を作成するとともに、医療関係機関との連携や家族等の協力などが図られる体制づくりを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時に備えて、実践をしている。又研修後の記録をまとめ常に参考できるようにになっている。緊急連絡網をわかりやすい所の掲示している、		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設内での防災訓練を行っている。	自衛消防訓練計画書により、消防署の指導のもと年2回避難訓練を実施している。 訓練では消火器の使い方を確認したり、避難経路や場所の誘導を利用者で行っているが、夜間を想定した訓練を実施するまでには至っていない。 地域の人々には協力を得られるよう働きかけているが、周辺はアパート等が多く地域がら協力を得るのは難しい状況にあるが、昔から馴染みのある一軒から協力を得ている。	消防署の指導のもと、夜間を想定した避難訓練を実施することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライバシーを配慮した介護をしている。また仕事の役職を誇りに思っている利用者には否定しないようしている、	職員は利用者の生活歴を把握し人格を尊重するとともに、さりげなくトイレ誘導をしたり、一人ずつ入浴するよう配慮するなど、プライバシーを損ねないよう支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望表出しやすいよう聞く姿勢、態度に十分に注意をし自己決定できるよう支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本意のペースになるよう職員が話し合い、時間配分を見直し、本人に適したサービスを提供している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望を優先している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に食事を楽しんだり、野外で食事をしたり、利用者とのコミュニケーションの中で食事の好み等を把握する。食事の後片付けは毎食行っている。	利用者と職員は食事の準備や後片付けを一緒にしている。 職員は利用者と共に食卓を囲み、声かけや食事支援をしながら一緒に食事をしている。 職員は利用者の好みや苦手なものを把握し献立を工夫したり、野外で食事会を催すなど楽しんで食事ができるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分チェック、排尿チェック、服薬チェック表にて記録している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自室にて個別対応している。義歯の手入れは自分で出来る様に誘導している、難しい人には職員が毎食後支援している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表にてチェックし、個人の排泄パターンを把握し誘導支援している、	職員は利用者一人ひとりの排泄表を記録するとともに排泄パターンを把握し、言葉かけやトイレ誘導するなどによってトイレで排泄ができるよう支援している。 居室にポータブルトイレを置き、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表にて個人の排便パターンを把握し誘導支援している。便秘時には水分の補給、腹部マッサージを施行している。ストレスが生じないように、外出、散歩などの気分転換を図っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	バイタルチェックをしその日の体調変化を見極め、ゆっくり安心して入浴を楽しむことができるよう支援している、	職員は利用者の体調を見極め、希望にそって朝と夕に分けて入浴支援をしている。 入浴は福祉用具などを活用しながら一人ずつ対応し、時間を決めずゆっくり安心して入浴ができるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	集団活動時には疲労の程度により、休息をとるよう支援しています。日中はレクリエーション、リハビリ体操、手作業に参加するように誘導するが、本人の希望を優先している。しかし、出来る限り参加するように声かけし、ベットでの横になる時間を少なくしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	カルテに個人の服薬がファイルしており各自が目を通すことができるようになっている、		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	清掃、洗濯物の片付け、食器拭き各個人分担となっており、各担当が優先して行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣の散歩、買い物の支援を行っている。時々家族付き添いのもと外出している。	職員は利用者の体調に配慮し、近隣の散歩や買い物、ドライブなどに出かけられるよう支援している。家族等の協力を得て外出ができるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在金銭管理できる利用者はいない為、施設管理としている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	職員が対応し電話をかけている。手紙等のやり取りは行っていない。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設全体整理、整頓を心がけている消毒清掃を施行し感染の防止に努めている。フロア内では、畳を敷いてコタツを置いた空間を設けると共に、南向きにソファを置いてくつろぐ様にしている。木製のテラスもあり、いつでもテラスへ出れるようにしている。花、壁絵等飾ることにより、季節感を味わうことができるよう工夫している。	リビング兼食堂は明るく広く開放的で、続きの畳のコーナーにはテーブルが設置され、お茶を飲んだり休むことができるスペースになっている。 リビングの大きな窓の外には木製のテラスがあり、洗濯物や布団が干してある。 窓からは季節の野菜などを作っている畑が見え、利用者の五感を刺激し様々な変化が感じられるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フローアにソファを置くことにより談話ができている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真、TV、使い慣れたタンスやボックス等を持ち込んでいる。利用者の作品を居室の壁に提示している。	ベッドや箆箆、洗面台は備え付けになっているが、それ以外は利用者の使い慣れたものやお気に入りのものを持ち込み、落ち着いて過ごせる居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ひとり一人が安全に活動しやすいよう環境整備をし、声かけし自立できるよう支援している、		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム あしたば

作成日 平成 21年 11月 7日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練について、夜間を想定した訓練等の実施	スムーズに連絡がつながるようにする	緊急連絡網による夜間想定連絡訓練の実施	1ヶ月
2	10	家族より直接的な意見等を聞くことがない	意見交換会の実施が出来る	家族会の実施 年に何回かの無記名アンケートの実施	2ヶ月
3	4	運営推進会議の進め方	意見交換が活発になる	テーマ等を決めて進めていく	2ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。